

令和 3 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	54
--------	----

担当課	教育委員会		担当課長	江上 智恵		
事業担当者	山本 恵理子		一次評価者	安部 憲一郎		
事業区分	継続事業		事務事業評価の履歴	有		
事務事業名	幼稚園預かり保育事業					
予算科目	10 款 4 項 1 目					
予算事業名	預かり保育事業費					
総合計画での位置づけ(施策名)	健全な子供を育てる					
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	-					
事業の対象	けやきの森幼稚園児、教員、保護者					
事業の目的	子どもの居場所づくり、子育て支援のために、けやきの森幼稚園の在園児で保護者が預かりを希望する子どもについて、通常保育時間終了後に最大17時まで預かりを行い、保護者がお迎えにくるまでの時間を安全・安心に過ごす場所を提供する。					
実施期間	開始年度	平成 30 年度から				
	終了年度	令和 年度まで				
事業の内容	預かり希望者について、通常保育終了後17時まで有料で保育を行い、保護者が安心して子どもを預けることができる環境を整える。					
目的達成の指標(成果指標)	預かり保育利用者数(のべ利用者数)					
	区分年度	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5年度
	目標	人	10,500	10,500	10,500	10,500
	実績	人	10,658	9,646		
指標設定の考え方	預かり保育の制度を理解してもらい、利用者数を増やすことを指標とする。					
計画時の懸案事項	預かり保育員の確保					
計画時の懸案事項への対応	預かり保育は平成30年度から行っている事業であり、保育員のシフト調整を幼稚園の主任に、手続きやお金の管理等を事務職員に任せることにより、効率よく運営できている。 しかしながら保育員の確保の面で困難さがあり、ホームページ等で募集をかけた、知り合いの先生に依頼したりして何とか確保している状況である。					

PLAN(計画)

No.2

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 807 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算	
事務量	① 人工数	0.1	0.1	0.1	0.1
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	765	717	789	789
事業費	直接事業費	11,322	12,274	11,532	11,532
	人件費	765	717	789	789
	合計	12,087	12,991	12,321	12,321
財源内訳	国庫支出金	3,530	3,292	2,960	2,960
	県支出金	2,480	2,242	2,160	2,160
	地方債				
	その他	4,200	4,200	3,200	3,200
	一般財源	1,877	3,257	4,001	4,001
合計	12,087	12,991	12,321	12,321	

事業費計画

(千円)

区分/年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	11,322	12,274	11,532	11,532	11,532
実績	8,655	9,070			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
預かり保育実施日数	日	220	220	220	220
		231	229		
幼稚園との連絡会議	回	8	8	8	8
		8	8		
保護者アンケート実施	回	1	1	1	1
		0	0		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 566 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算	
事務量	① 人工数	0.1	0.1	0.1	0.1
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	765	717	702	789
事業費	直接事業費	8655	12,274	9070	11,532
	人件費	765	717	702	789
	合計	9,420	12,991	9,772	12,321
財源内訳	国庫支出金	2793	3,292	2645	2,960
	県支出金	1813	2,242	1895	2,160
	地方債	0	0	0	0
	その他	3717	4,200	3383	3,200
	一般財源	1,097	3,257	1,849	4,001
合計	9,420	12,991	9,772	12,321	

実施備忘録

CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	山本 恵理子
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？		評点	判定
<input type="checkbox"/>	町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/>	緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/>	実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/>	町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？			
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		4	B
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。		3	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。		3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		3	
3. 実施内容は適切か？			
①有効性			
<input type="checkbox"/>	久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/>	事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/>	事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性			
<input type="checkbox"/>	事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input type="checkbox"/>	外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	2	
<input type="checkbox"/>	実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性			
<input type="checkbox"/>	受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/>	事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/>	ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの
<input type="checkbox"/>	A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)
<input checked="" type="checkbox"/>	B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)
<input type="checkbox"/>	C見直し
<input type="checkbox"/>	D廃止
<input type="checkbox"/>	E完了

C見直しの具体的内容	
<input type="checkbox"/>	実施方法の工夫
<input type="checkbox"/>	事業の効率化
<input type="checkbox"/>	受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/>	事業縮小
<input type="checkbox"/>	その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

近隣の自治体では公立幼稚園への入園者数が大幅に減少しており、閉園や統合が相次いでいるが、けやきの森幼稚園では入園者の減少幅が大きくない。当事業を行うことで、ある程度入園者の確保ができていると考えられる。令和3年度については、コロナ禍において預ける人数が減少したが、本来のニーズは高く、子育て支援策として継続していく必要がある。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

預かり保育事業が始まって4年が経過し、働くお母さんたちにとって公立幼稚園の選択肢があることが定着している。また、幼保無償化が始まってから2年半が経ち、子育て支援の面で大きく寄与していると考えられる。今後、この事業を充実させていくためには、喫緊の課題である保育員の確保に取り組み、質の高い保育を継続して行っていけるよう努めていかなければならない。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	安部 憲一郎
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ← 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？		評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。		4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。		4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。		4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。		4	
2. 町が実施する必要があるか？			
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。			
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。		4	B
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。		3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		3	
3. 実施内容は適切か？			
①有効性			
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。		4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。		4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。		3	
②効率性			
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。		4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。		3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。		4	
③公平性・透明性			
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)		4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。		3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。		3	

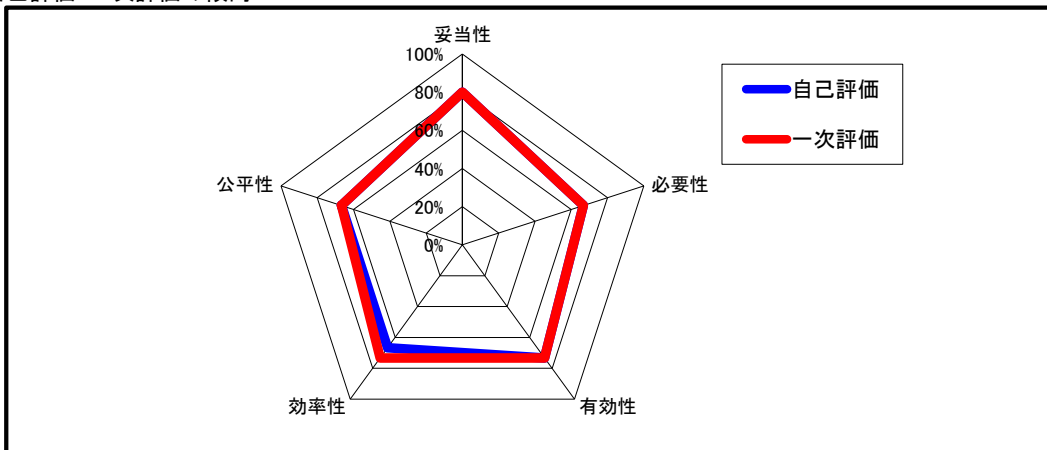
今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)	
<input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)	
<input type="checkbox"/> C見直し	
<input type="checkbox"/> D廃止	
<input type="checkbox"/> E完了	

C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

幼稚園の預かり保育のニーズは高く、預かり保育があるために、幼稚園の通園者数は対象の子どもの数に対して40%を超えている。久山町では幼小中と12年間を通じた一貫したつながりのある教育を目指しており、英語教育・道徳教育などに力を入れている。久山町独自の教育を行ううえでも預かり保育は必要であり、今後も充実した環境で実施していく。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者

江上 智恵

- A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

- B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

預かり保育の利用者は増加しており、子育て支援の役割を十分に果たしていると考えている。また、預かり保育があることで幼稚園の入園率の高さにもつながっている側面もあり、町のすすめる教育を受けることができるしくみとなっており、今後も継続が必要である。

- C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

- D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会
で評価する。

月 日
開催予定

- E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり
直し、
月 日
までに提出すること。

評価終了
 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

外部評価

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	→	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

評価	B	外部評価委員の意見 ・町の人口が増え、働く女性が増える事で、預かり保育のニーズは高まることが予想される中で、本事業の重要性は高い。 ・更なるサービス向上のひとつとして、保育時間の延長を行うべきではないか。 ・利用者は増えていくと予想される中で、保護者へのアンケート等を実施して、満足度はかかる必要があるのではないかと。 ・コロナ禍や、全国で起こる保育に関する事故による利用者の不安を把握する意味でも、アンケートを実施することが必要ではないか。
----	---	--

経営者会議

経営者評価	町長
-------	----

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	→	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

評価	B	経営者会議の結果 山田・久原両幼稚園がけやきの森幼稚園に統合された平成30年度から幼稚園の預かり保育を開始し現在5年目の事業である。令和3年度の実績として通年で57名の園児を保育しているが、これは園児全体の約40%にあたり、保護者の働き方が多様化していく中でニーズの高い事業だといえる。 開園後当面の間は利用者数の増加を目標としてきたが、今後17時までの保育時間を延長することも含めた預かり保育事業の改善を行うことで、幼稚園入園者数の増加や待機児童の解消につなげる事も目指して事業を実施していく必要がある。 本事業の改善案の一つとして、保育時間の延長を検討するが、現在預かり保育を利用している方に保育時間の延長が必要かどうかの調査を行ったうえで、保育時間の延長について前向きに検討を行う。 調査結果を踏まえ、体制等運営の見直し及び費用対効果について十分に検討したうえで実施することとする。
----	---	---

令和 5 年度予算要求事項(今後の取り組み)
預かり保育事業は、保護者の働き方が多様化する社会の中で大変ニーズの高い事業と考え、今後も内容等を充実させていきながら運営を続けていく。 令和4年秋に実施した利用者へのアンケートの結果からも事業に対する満足度も高く必要性があることも把握できた。また、保育時間については利用者の32%から延長の要望が出ており、保育時間の延長を行うことにより現利用者の満足度の向上はもとより、未利用者が当事業を利用するきっかけになることも考えられ、ひいては幼稚園の利用者も増えていき園運営に大きなメリットがあると考えられる。 ただし、運営体制については、スタッフの配置など効率のよい事業運営や職員の働き方改革の観点から、民間事業者による運営が必要と考え、令和5年度には預かり保育事業の業務委託費について予算要求を行うこととする。